

第41回 株主通信

平成24年3月期

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで



Global Brand統合のお知らせ

新中期経営計画のご紹介

[特集] 世界の変革パートナーとして

株主の皆様へ

目次

株主の皆様へ 1

Global Brand統合の
お知らせ 2

新中期経営計画のご紹介 4

[特集]

世界の変革パートナーとして

世界における
NTTデータグループ 6

世界の変革パートナーへの
取組 7

事例紹介

「PANADES」 8

株主コミュニケーション

株主還元について 12

配当金の口座振込に
ついて 12

「春休みこどもIT体験」を
開催しました！ 12

連結財務レポート 13



第41回株主通信をお届けするにあたり、株主の皆様へご挨拶申し上げます。

平成24年3月期の業績は、引き続き厳しい事業環境のもとではありますが、連結子会社の拡大のほか、原価率改善による売上総利益の増加などにより、売上高1兆2,511億円、営業利益804億円と対前期比で増収増益となりました。(決算の概要については、P.13の「連結財務リポート」をご覧ください。)

また、平成24年3月期における株主の皆様への配当につきましては、当初の予定通り、1株当たり年間6,000円(中間3,000円、期末3,000円)とさせていただきます。

当社グループは、これまで、資本提携などを通じ急速に規模を拡大してまいりましたが、今後は、拡大した規模を活かすために、ガバナンスの強化を図った上で、グループ全体最適の視点から、さらに経営資源の効率的な活用やシナジーの創出を実現していく必要があると考えております。

このため、今年度から平成27年度までの4か年の新中期経営計画をスタートさせ、①新規分野拡大・商品力強化、②グローバルビジネスの拡大・充実・強化、③全体最適の追求の3つの注力分野に取り組んでまいります。また、これらの取組に先立ち、米州地域においてNTT DATA, Inc.を中心とした新体制を発足させるなど、グループ会社や組織の再編・統合を進めるとともに、世界におけるブランドの統一にすでに着手しております。

当社グループは、新中期経営計画の達成に向けて、世界においてグループ全体が一体となる「One NTT DATA」をテーマに掲げ、さらに前進してまいります。

株主の皆様には、今後とも宜しくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

岩本敏男

Global Brand統合のお知らせ

新ロゴデザインのご紹介

NTT DATA

NTTデータグループは、グローバルオペレーションを推進するための運営体制の構築と、ローカル顧客への密着したサービス、グローバル顧客への迅速なサービス提供の実現、さらには海外におけるプレゼンス強化などを目的として、海外グループ会社の統合・再編と“NTT DATAブランド”への統合を進めています。

これにともない、1988年の創立以来23年以上にわたり使用してきたコーポレートロゴをグローバル統一の新デザインに変更しました。

今後は新しいコーポレートロゴとともに、グローバル規模で、“NTT DATAブランド”による当社グループの実績と信用力をお客様に訴求していきます。

ブランドプロミス

NTTデータグループは、次のことをお客様にお約束し実行します。

NTTデータグループは、
変革を構想し実現するパートナーとして
お客様と、夢と感動を共有していきます。

私たちは、ニーズへの先見性や深いお客様理解をもとに、新たなビジネスやサービス、そしてそれを支えるソリューションを構想し、社会やビジネスの更なる発展という夢を、お客様と共有します。

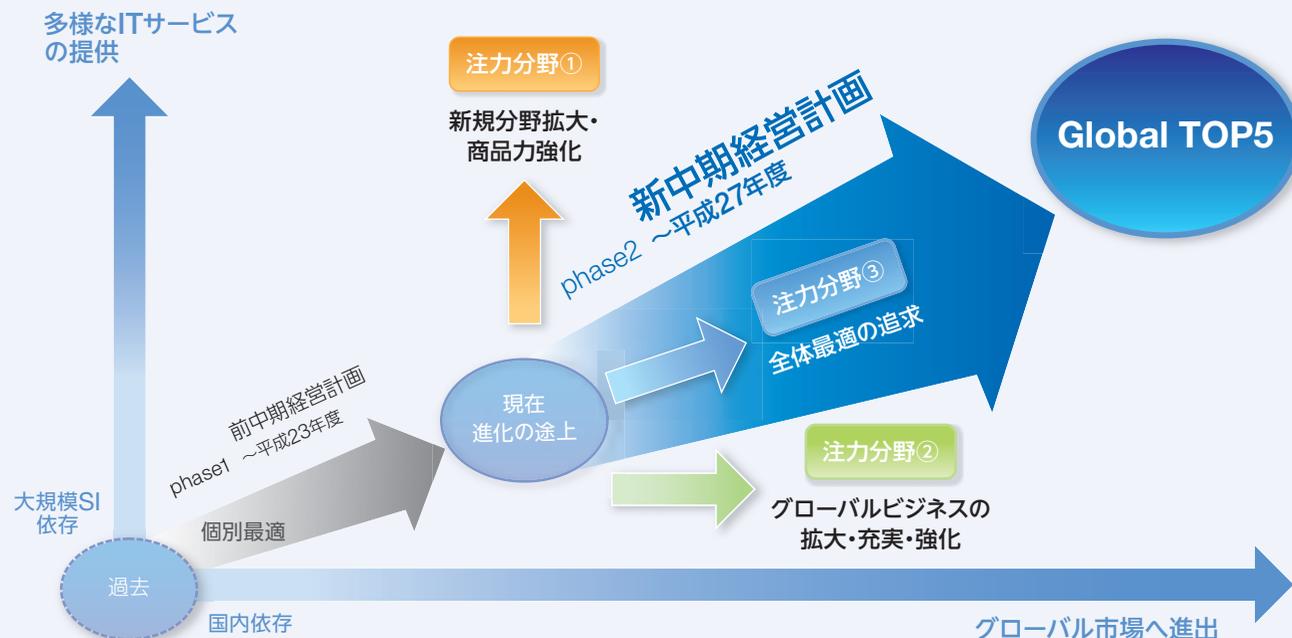
そして、その変革を実現し、お客様と感動をともにすることこそ、私たちのゴールです。

そのために、高度なシステム構築力や活用力を核に、様々なビジネスやサービスの連携などIT領域にとどまらないサポートを行っていきます。

新中期経営計画のご紹介

NTTデータグループは、グローバルトップ5の実現に向けてさらに加速するため、このたび、平成24年度から平成27年度までの4ヵ年の新中期経営計画を策定しました。当パートでは、新中期経営計画の概要についてご説明します。

新中期経営計画の位置付けと注力分野



事業環境の変化に合わせて「3つの進化」を遂げることで、グローバルトップ5を目指します。

当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化しています。グローバルトップ5を実現するためには、事業環境の変化に合わせて進化し続ける必要があります。新中期経営

計画では、グローバル市場の拡大に合わせた「グローバル市場へのさらなる進出」、お客様ニーズの多様化・高度化に合わせた「多様なITサービスの提供」、急速に拡大したグループ規模を活かすための「全体最適の追求」という3つの進化を遂げることで、グローバルトップ5を目指します。

新中期経営計画の目標

Global TOP5

「国内の大規模SI事業中心の企業グループ」から「グローバルで多様なITサービスを効率的に提供する企業グループ」へと進化し、規模を活かした最高のサービスをお客様へ提供します。

企業価値の向上

事業展開に必要な投資と、財務基盤のさらなる健全化を両立できる企業体質へと変革を行い、不安定な経済状況下においても持続的な成長を実現することで企業価値を向上します。

EPS* (平成28年3月期)

* Earnings Per Share: 一株当たり当期純利益

20,000円 (平成24年3月期対比 85%UP)

注力分野① 新規分野拡大・商品力強化

お客様からの期待に対し、ITコストを削減できるソリューションの拡大に取り組むとともに、提供するサービスの高度化・多様化を図ります。

さらに、新規事業開拓や既存事業における成長、シェア拡大が見込める分野へのリソース流動などにより、当社収益の持続的な成長に繋がるような事業の拡充を目指します。

また、ソフトウェア生産技術の向上や大学などと連携した先端技術の研究開発など、新規分野拡大・商品力強化のための積極投資も進めます。

- 新規事業の開拓
- サービスの高度化・多様化
- ITコスト削減ソリューションの拡大
- Re:Marketing
- 戦略的R&D

注力分野② グローバルビジネスの拡大・充実・強化

お客様のグローバル市場への進出のサポートや、拡大が見込める海外市場の取り込みのため、空白地域へのカバレッジの拡大を目指します。また、SAP、テレコム分野など当社が得意技として保有するソリューションをグローバル横断チーム(Global One Team)で共有し、さらなる充実・強化を行います。

- 地域カバレッジの拡大
- 既進出地域の事業拡大
- ブランド統一とグローバル市場への浸透
- グローバル・ソリューションの充実・強化
- NTTグループと連携した営業力、サービス提供力の強化

注力分野③ 全体最適の追求

グローバルレベルでの業務の標準化・効率化・集約化、グループ会社や組織の再編・統合を通じた規模を活かした経営の効率化に向けた取組を行います。また、激変する環境に対応した事業の配置に合わせて、リソース配分を行い、さらなる成長を促進します。

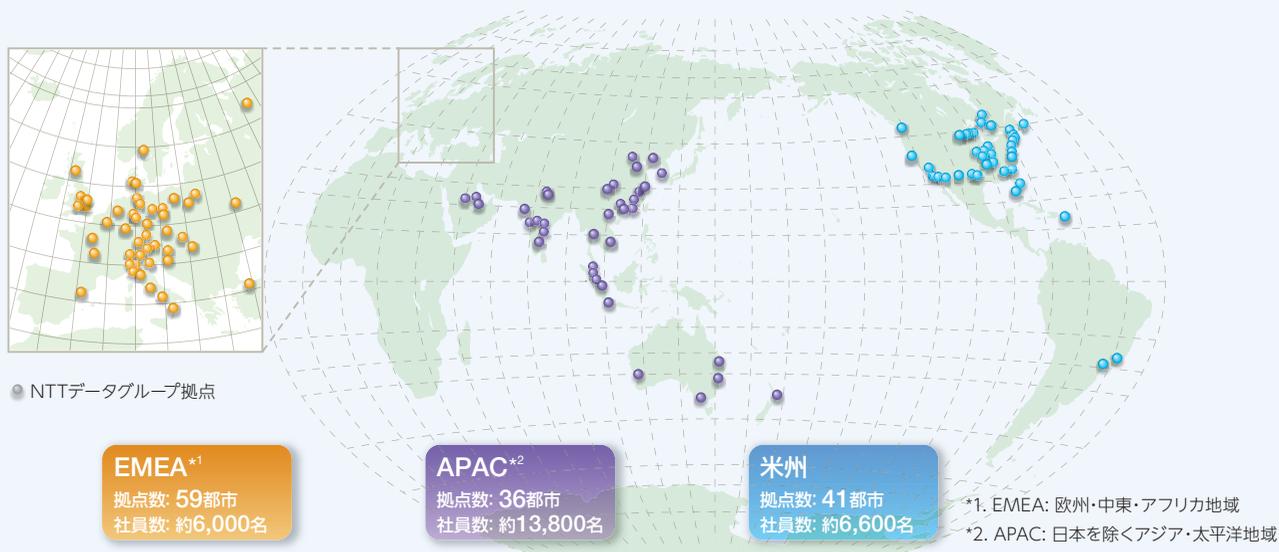
- グローバルレベルでの業務の標準化・効率化・集約化
- 組織の再編・統合の加速
- リソースの流動化と最適配置

【特集】 世界の変革パートナーとして

世界におけるNTTデータグループ

NTTデータグループは、グローバルトップ5に入ることを目指してビジネスの拡大を推進しています。この結果、平成24年3月末時点の海外拠点は、世界35カ国・地域、136都市、約26,400人の体制となっております。

NTTデータグループの海外拠点の状況 (平成24年3月31日時点)



世界を舞台にお客様とともに成長するため、海外市場でのビジネス拡大に取り組んでいます。

現在、海外のIT投資は新興国市場を中心に堅調な推移が見込まれており、国内のお客様による海外市場への進出も引き続き加速しています。このため、当社グループでは、お客様の海外市場への進出をサポートするとともに、今後も拡大が見込める海外市場を取り込むため、世界において

まだ当社グループの拠点が空白地域へのカバレッジ拡大に取り組んでいます。

この結果、平成24年3月末時点では、世界35カ国・地域、136都市に約26,400人の体制を確立しました。

また、海外売上高も増加しており、同期末時点で約2,083億円に達するとともに、海外売上高比率についても約16.6%となっています。

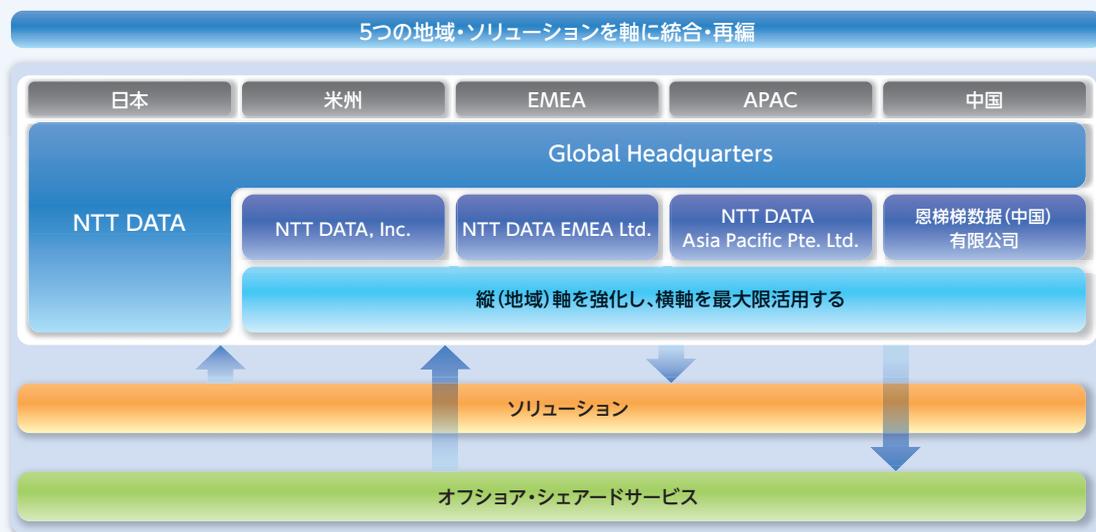
[特集] 世界の変革パートナーとして

世界の変革パートナーへの取組

NTTデータグループでは、世界規模での組織再編やブランドの統合を進めています。

これにより、新たな「One NTT DATA」体制での事業活動を、今年度から本格的に開始しました。

「One NTT DATA」体制



世界の5つの地域とソリューションを軸としたグループ会社の統合・再編と、ブランドの統合を進めています。

米州地域では平成24年1月に統合・再編を開始し、「NTT DATA, Inc.」を中心とした新体制を発足させました。またEMEA(欧州・中東・アフリカ地域)においても再編を実施し、4月1日より「NTT DATA EMEA Ltd.」のもとでの新体制の構築を進めています。APAC(アジア・太平洋地域)にお

いても、今後、「NTT DATA Asia Pacific Pte. Ltd.」を中心とした再編を進め、さらに中国地域においても「恩梯梯数据(中国)有限公司」を核とした新体制による事業を開始します。

これらの統合・再編プロセスにおいて、海外グループ会社の商号は「NTT DATA」を冠したものに統一していきます。

【特集】 世界の変革パートナーとして

事例紹介

飛行経路設計システム

「PANADES」

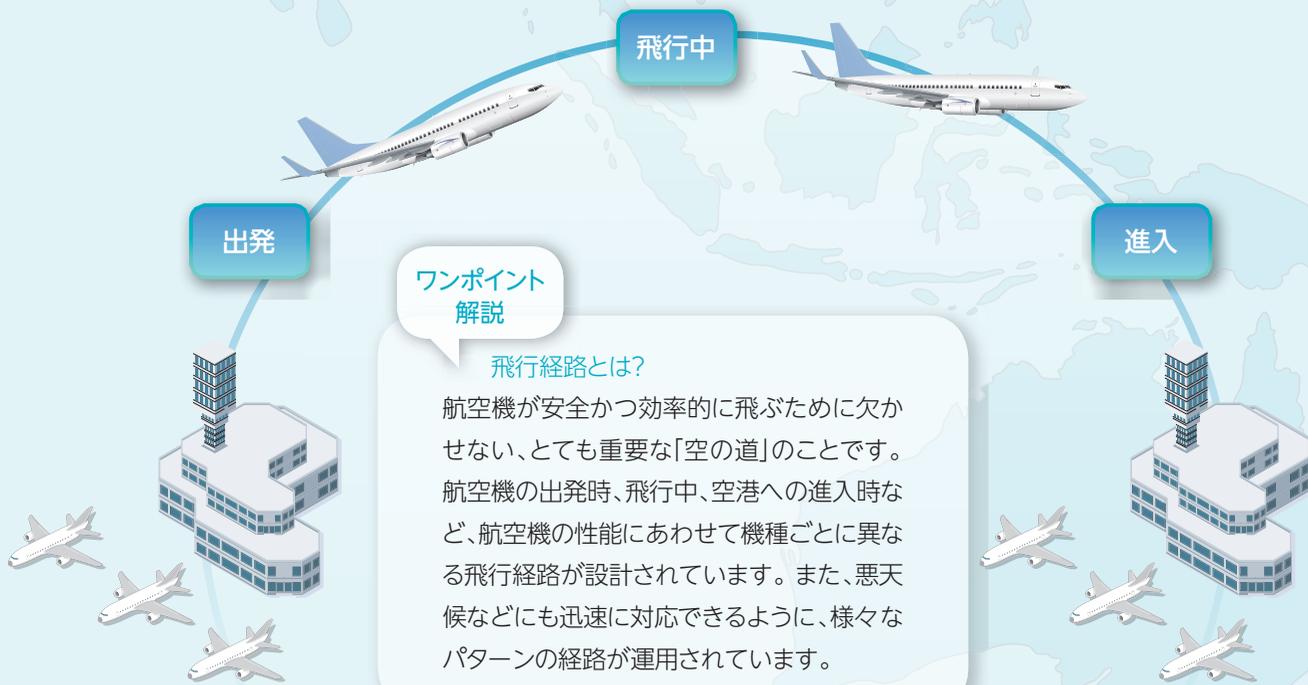
NTTデータグループは、「世界の変革パートナー」を合言葉に、世界を舞台に社会やお客様の変革に貢献するITサービスをご提供しています。今回は、世界の空で活躍する飛行経路設計システム「PANADES」についてご紹介します。

「PANADES」のご紹介

「PANADES」とは、空の安全に欠かせない飛行経路を国際基準に基づいて設計するためのシステムです。

複雑な計算を自動で処理することにより、安全かつ効率的な飛行経路を素早く正確に設計することが可能になります。

現在、東南アジアにおいて、タイとインドネシアの2カ国で導入・運用されているほか、他の1カ国でも採用が決定されています。



【特集】 世界の変革パートナーとして

担当者インタビュー

空の安全を支える「PANADES」に携わる担当者の声をご紹介します。



「PANADES」開発・営業チーム



「PANADES」のロゴマーク

Q: 「PANADES」の概要について教えてください。

A: 「PANADES」とは、国際基準に基づいて航空機の飛行経路を設計するためのシステムで、当社グループが、長年携わってきた航空管制分野での経験やノウハウを結集して開発しました。

飛行経路の設計では、幾何計算などの複雑な処理を正確に行う必要がありますが、「PANADES」はこれらを自動で処理できるので、人手によるミスの防止にもつながり、より安全な経路を素早く設計できます。また、「PANADES」で計算した幾つもの経路を検証し比較することで、より効率的な経路を選択でき、飛行時間の短縮や燃料の節約、CO₂排出量の低減も可能になります。

現在は、東南アジアにおいて、タイとインドネシアの2カ国ですでに導入・運用されています。さらに平成23年12月、新たに3カ国目での採用が決定しました。

お客様からの“Amazing!”という言葉が、嬉しくて忘れられません。(山城)

海外のお客様との関係構築や調整は大変ですが、やりがいがあります。(朝場)

Q: 「PANADES」はどのように誕生したのですか。

A: 「PANADES」は当初から海外市場をターゲットにしていたので、国際会議や海外イベントでの情報収集や意見交換を積極的に行い、国際基準や海外のお客様のニーズを学びながら開発を進めました。また、実際のお客様との関係構築や受注にあたっては、独立行政法人国際協力機構（JICA）様からの支援をいただくとともに、当社グループの海外拠点とも密に連携しながら調整を進めてきました。

Q: お客様からはどのような評価をいただいていますか。

A: 経路設計の複雑な計算を、素早く正確に処理できることを評価いただいています。

昨年、インドネシアのお客様に「PANADES」の使い方についての研修サービスをさしあげたとき、「Amazing!、これまでは同じ処理に2週間もかかっていたのに!」という言葉をいただいたことが本当に嬉しくて、今でも忘れられません。



公共システム事業本部
第一公共ビジネスユニット
第一システム統括部 開発担当
主任
山城 かすみ
(やましろ かすみ)



現地担当者の声

NTT DATA (Thailand) Co., Ltd.
ビジネス開発事業部
ゼネラル・マネージャー
アティコム・チャイシートン 氏

日本のチームと協力して「PANADES」を導入できたことは、大きな成功体験になりました。

NTTデータグループの優れたソリューションを、タイの空のインフラに導入することができた今回のプロジェクトは、私たちにとっても大きな成功体験になりました。今後も、日本や世界のチームとの協力を深めて、お互いのビジネスを拡大したいと思います。

Q: 「PANADES」は社会にどのように貢献できますか。

A: 航空機がより安全に飛行できるだけでなく、より効率的な経路を選べることで、飛行時間の短縮や燃料の節約、CO₂排出量の削減にもつながります。つまり、空の安全だけでなく、経済面や環境面でも貢献できると考えています。

Q: 海外拠点との連携について教えてください。

A: 最初の導入先のタイでは、現地のメンバーがお客様との調整でとても活躍してくれました。日本とタイのチームがうまく連携できたことで、外国の企業でも任せられるという信頼を現地のお客様からいただくことができました。海外のお客様との信頼関係を深めるためには密接なコミュニケーションが欠かせないので、今後もチームワークを磨いていきたいです。

Q: 今後の展開について教えてください。

A: 「PANADES」をより多くのお客様に採用いただくとともに、今後は、私たちが強みを持つ他のシステムについてもグローバルにご提案していきたいと考えています。

海外のお客様との信頼関係の構築や調整は大変ですが、その分、大きなやりがいがあります。



公共システム事業本部
第一公共ビジネスユニット
営業部 第一営業担当
社員
朝場 みずき
(あさば みずき)

株主コミュニケーション

株主還元について

当社は、連結ベースにおける業績動向、財務状況などを総合的に勘案し、連結配当性向30%程度を目安に、安定的に配当を実施したいと考えています。内部留保資金につきましては、新規事業への投資、技術開発および設備投資などに充当することにより、今後とも継続的かつ安定的な成長の維持に努めてまいります。

1株当たりの年間配当金は、平成24年3月期は6,000円とさせていただきます。また、平成25年3月期につきましても6,000円を予定しております。

配当金の口座振込について

株主の皆様へ、安全・便利で確実に配当金をお受け取りいただくために、口座振込によるお受け取りをおすすめいたします。株券電子化に伴い、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有している全銘柄の配当金をお受け取りいただく方法が可能になりました。お手続きについては、お取引の証券会社にお問い合わせください。なお、特別口座で管理されている株式に関する手続きについては、

お問い合わせ先：
三井住友信託銀行 証券代行部
0120-176-417

「春休みこどもIT体験」を開催しました！

4月の春休み期間を利用して、前回の株主通信にて参加募集をいたしました「春休みこどもIT体験」を開催しました。

桜も咲いて春爛漫の陽気のなか、当社INFORIUM豊洲イノベーションセンタにて、「ITなるほどマナー」やパソコンでの「お絵かき教室」など、ITを楽しく学べる7つのプログラムを体験していただきました。お子さまのご家族からも「これからインターネットなどを使う機会が増えるので、良い勉強になりました。」など、たくさんのご好評の声をいただきました。



「ITなるほどマナー」でお勉強。



パソコンで塗り絵にも挑戦！

最新のニュースについて

最新のニュースについては、当社ホームページの「ニュースリリース」にて開示しております。下記のURLからご参照ください。

<http://www.nttdata.co.jp/release/index.html>

連結財務レポート

受注高: 1兆984億円

主に連結子会社拡大により増加しました。



売上高: 1兆2,511億円

主に連結子会社拡大により増収となりました。



営業利益: 804億円

原価率改善等による売上総利益の増加や、不採算案件の抑制により、増益となりました。



セグメント別売上高

■ パブリック&フィナンシャル ■ その他・調整額
 ■ エンタープライズITサービス*
 ■ ソリューション&テクノロジー



注: 内部取引を含む。

* 平成24年4月1日よりグローバルITサービスカンパニーから名称変更しました。

財務情報の開示について

詳細な財務情報については、当社ホームページの「投資家・株主の皆様へ」にて開示しております。下記のURLからご参照ください。

<http://www.nttdata.co.jp/corporate/ir/index.html>

会社概要	
商号	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
本社	〒135-6033 東京都江東区豊洲三丁目3番3号 豊洲センタービル
	電話: (03) 5546-8119 (IR・ファイナンス室)
	URL: http://www.nttdata.co.jp/
設立年月日	1988年(昭和63年)5月23日
資本金	142,520百万円(平成24年3月31日現在)
従業員数	10,579名(平成24年3月31日現在)

取締役および監査役(平成24年6月20日現在)	
代表取締役社長	岩本 敏男
代表取締役副社長執行役員	山田 英司
代表取締役副社長執行役員	萩野 善教
代表取締役常務執行役員	栗島 聡
取締役常務執行役員	椎名 雅典
取締役執行役員	寒河江 弘信
取締役相談役	山下 徹
取締役	高屋 洋一郎
常勤監査役	門脇 康裕
常勤監査役	井上 裕生
常勤監査役	日野 康臣
監査役	佐藤 リエ子

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日
	中間配当 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告(当社ホームページ http://www.nttdata.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告をすることができな い場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
証券コード	9613

大株主の状況(平成24年3月31日現在)		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本電信電話(株)	1,520,010	54.19
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	124,527	4.44
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	106,251	3.79
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	27,872	0.99
NTTデータ社員持株会	27,471	0.98
JPモルガン証券(株)	26,370	0.94
資産管理サービス信託銀行(株) (証券投資信託口)	23,793	0.85
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) (常任代理人 (株)三菱東京UFJ銀行)	21,056	0.75
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口4)	19,747	0.70
みずほ証券(株)	19,167	0.68

お知らせ

- 口座振替(特別口座から証券会社に開設した振替口座に株式を振替えること)のお手続きについては、以下の三井住友信託銀行のフリーダイヤルまでお問い合わせください。

お問い合わせ先:

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話: ☎ 0120-176-417

- 当社の株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関である住友信託銀行株式会社は、平成24年4月1日付で商号を三井住友信託銀行株式会社に変更しました。なお、郵便物送付先の住所、照会先電話番号に変更はございません。

株式に関するお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様のご住所変更などのお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。特別口座の株式についてのご照会およびご住所変更などのお届出は、上記のフリーダイヤルまでお願いいたします。